

アイヌが歩む。アイヌと歩む。 ウポポイ(民族共生象徴空間)が 2020年4月24日、白老町にオープン。



古くからアイヌ民族のコタン(集落)があったことで知られる白老町ポルト湖畔に、2020年4月24日、アイヌ文化の復興などに関するナショナルセンター「ウポポイ(民族共生象徴空間)」が誕生します。ウポポイは、アイヌの歴史や文化について多くの皆さんに幅広く理解を深めてもらい、アイヌ文化の復興と発展につなげるための拠点です。



アイヌの伝統芸能とチセ(家)のイメージ写真

アイヌの人々は、独自の言語や文化を持つわが国の先住民族です。

政府は、衆参両院による「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議(平成20年)」および「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告(平成21年)」を踏まえ、内閣官房長官が座長を務めるアイヌ政策推進会議のもと、アイヌの人々の意見を聴きながら、アイヌ政策を推進しています。

こうした背景を踏まえて誕生する「ウポポイ」は、わが国が将来に向けて、先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化を持つ活

力ある社会を築いていくための象徴として整備されるものです。

白老町にあるウポポイには、アイヌの歴史や文化をさまざまな視点からわかりやすく紹介する「国立アイヌ民族博物館」と、アイヌ文化を五感で体感できる「国立民族共生公園」のほか、ポルト湖東側の高台に「慰霊施設」が整備されます。

道ではウポポイへ多くの方々にお越しいただくため、道内外でPRイベントを実施しています。また、ウポポイの開設により大きな経済効果が期待されており、さらなる道内経済の活性化を図るため、行政や経済団体、企業などで構成する「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」では、機運の醸成に向けたさまざまな取り組みが行われています。



昨年、道内外で開催したPRイベント

この施設をより身近に親しんでもらうため、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味する愛称「ウポポイ」が昨年、全国投票で選ばれ、あわせてロゴマークも公表されました。

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間



ウポポイ(完成予想図)提供:文化庁

国立アイヌ民族博物館

先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館です。国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を広め、新たなアイヌ文化の創造と発展に寄与するための施設です。伝統的なアイヌ文化だけでなく、現代に息づく多様なアイヌ文化とそれに関わる人々をさまざまな視点から紹介します。言葉や暮らし、歴史など6つのテーマ展示と、それらの代表的な資料を一堂に



国立アイヌ民族博物館(完成予想図)提供:文化庁

集めた「プラザ展示」、体験キットなどを使ってアイヌ文化を体感的に学ぶことができる「子ども展示」などから構成されます。

国立民族共生公園

アイヌ古式舞踊の公演や多様な体験プログラムを通じて、アイヌ文化を体感することができるフィールドミュージアムです。この施設では、食材の加工や調理体験などを通じて、アイヌの食文化の奥深さを味わうことができるほか、アイヌが伝承してきた木彫りや刺しゅうによる文様の製作体験、アイヌの子どもたちが楽しんだ遊びを体験することができます。また、公園内の原始性に富んだ豊かな植生を通じてアイヌの自然観に触れるなど、先住民族アイヌの文化を五感で感じることができます。



アイヌ古式舞踊

●大学が保管するアイヌ遺骨等の出土地域への返還手続を実施中です

文部科学省では、大学が保管するアイヌの人々のご遺骨等を発掘・発見された地域へ返還するため、札幌市に「アイヌ遺骨等地域返還連絡室」を開設し、アイヌ関係団体が返還を希望する場合の手続を郵送、Eメール、ファクスなどにより受け付けています。

申請受付期間:2019年4月26日~10月25日

※手続の詳細については、文部科学省ホームページをご覧ください。

文部科学省 [アイヌ遺骨 返還](#) [検索](#)

▶お問い合わせ

文部科学省アイヌ遺骨等地域返還連絡室
札幌市中央区北1条西2丁目11-1 23山京ビル902
☎(011)330-8314-8315 FAX(011)330-8316
Eメール:chiikihenkan@mext.go.jp

●アイヌ民族への理解を深めるために

道では、道民の皆さんにアイヌ文化への理解を深めていただくための小冊子「アイヌ民族を理解するために」を作成し、希望者に配布しています(送料は着払いとなります)。

また、下のQRコードにアクセスすると、ダウンロードができます。身近な学びのきっかけにお役立てください。



アイヌ民族を理解するために [検索](#)

携帯サイト



みんなの赤れんが

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

7月17日は「北海道みんなの日」

松浦武四郎が明治政府に「北加伊道」という名称を提案した7月17日は、「北海道みんなの日」(愛称:道みんなの日)です。北海道に暮らす皆さんが、本道のこれまでの歴史や文化、風土を見つめ直し、価値を再認識して、より豊かな北海道を築いていくこと、また、道外から本道を訪れる人、北海道にゆかりのある人に、本道の魅力を発信する機会となることを目的に制定されたものです。

「北海道みんなの日」には、道内各地の道立施設などで、常設展示の観覧料や入場料などが無料や割引になるほか、各種記念イベントなども開催されます。ぜひお越しください。



道みんなの日チラシ

※7月17日の前後に実施、開催されるものもあります。詳しくはこちらをご覧ください。
[北海道みんなの日](#) [検索](#)
▶道庁政策局参事 ☎(011)204-5106

消費者トラブルにご注意を

訪問販売や電話勧誘、マルチ商法などで強引な勧誘を受ける悪質商法や架空請求詐欺、インターネットの通信販売などによる「消費者トラブル」が増加しています。特に、若者や高齢者が注意が必要です。

勧誘を受けても必要のないときは、はっきりと断りましょう。困ったときや不安なときは、一人で悩まずすぐにご相談ください。

▶道立消費生活センター ☎(050)7505-0999
▶消費者ホットライン ☎188(全国共通)

後期高齢者医療制度の保険料軽減特例が見直されます

世代間の公平の観点から、今年度、後期高齢者医療保険料の均等割の軽減率が見直され、これまで保険料均等割が9割減だった方は、8割減に変わります。順次お住まいの市町村から保険料決定通知書を発送しています。ご不明の点は各市町村、北海道後期高齢者医療広域連合にお問い合わせください。

2018年度	2019年度
9割軽減 (月平均417円納付)	8割軽減 (月平均833円納付)
保険料の納付額(1割)	保険料の納付額(2割)

▶北海道後期高齢者医療広域連合 ☎(011)290-5601

冊子「もっと知りたい! 統合型リゾート(IR)」を作成しました

最近、IR(統合型リゾート)という言葉が新聞やテレビでよく耳にしますが、「そもそもIRって何?」という疑問を持っている人、また、「IR=カジノ」といった認識から、不安を抱えている人もいるのではないのでしょうか。

現在、道では、IRの誘致について検討していますが、この機会に、道民の皆さんにもIRについての理解を深めてもらうことが大切と考え、Q&A形式の啓発冊子「もっと知りたい! 統合型リゾート(IR)」を作成しました。

冊子は道観光局のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

▶道立観光局 ☎(011)204-5305

「道民の森」へ遊びに行こう

「道民の森」(当別町・月形町)では、森林学習センターやコテージなどの宿泊施設、キャンプ場、木工芸館などを備え、森林散策やバーベキュー、木工・陶芸・クラフトづくりなどが楽しめます。

夏休みの思い出づくりや自由研究などに、ぜひお越しください。詳しくはホームページ、または電話でお問い合わせください。

▶指定管理者:
(一財)北海道森林整備公社道民の森管理事務所 ☎(0133)22-3911

薬物、ダメ。ゼッタイ。薬物乱用を防止しよう

覚醒剤や大麻など薬物の乱用は自分の将来を台無しにするだけでなく、家族や恋人など大切な人も不幸にします。もし、薬物の使用を誘われたら、まずはきっぱりと断ることが何より大事です。断りづらくなったときには、とにかくその場を離れましょう。

大麻に関する正しい情報をお知らせする警察庁のサイトがオープンしました。ぜひご覧ください。

▶道警本部薬物統制対策課 ☎(011)251-0110

米トレーサビリティ法をご存じですか

「米トレーサビリティ法」では、米や米加工品で食品事故などの問題が発生した場合などに、流通ルートなどを速やかに特定するため、取引などの記録の作成・保存や、産地情報の伝達を事業者が義務付けています。

●記録:品名、産地、数量、年月日、取引先名、搬出入の場所など
●伝達:事業者間及び一般消費者への産地情報

米トレーサビリティ法の情報は、下記ホームページをご覧ください。

▶道庁 米トレーサビリティ法 [検索](#)
▶農林水産省 米トレーサビリティ法 [検索](#)
▶道庁農産振興課 ☎(011)204-5982

復旧・復興レポート

昨年9月に発生した胆振東部地震の被災地の復旧・復興に向けた主な取り組みを紹介します。

被災地での復興のシンボルや拠点づくりが活発

■「むかわ竜」のレプリカが完成!
むかわ町では、「むかわ竜」(種別産)のレプリカ(全身復元骨格)を製作。東京で開催中の「恐竜博2019」(10/14まで)で展示しています。

■新たな「道の駅」が誕生!
安平町に「道の駅あびらD51ステーション」がオープン。D51型蒸気機関車の展示や直売所などの施設が備わっています。

復旧・復興に向けた道の取り組みや進捗はこちら [※ロードマップは毎月更新。](#)
胆振東部地震 ロードマップ [検索](#) ▶道庁胆振東部地震災害復興支援室 ☎(011)204-5795

いきいき地域から

空知総合振興局 特産品が当たる! 空知スタンプラリー2019
農産物やワイン、お酒などの生産が盛んな空知では、現在、管内全24市町を巡る「空知スタンプラリー2019」を10月31日まで開催中。専用サイト「そらち・デ・ビュー」からダウンロード・印刷した紙に、道の駅など対象施設24カ所すべてのスタンプを集めて応募すると、24名様に15,000円相当の特産品が当たります。この機会に空知を巡って、とっておきのおいしさを当ててください。

そらち・デ・ビュー [検索](#) ▶地域政策課 ☎(0126)20-0036

留萌振興局 深川・留萌自動車道全線開通 カウントダウンキャンペーン2019実施中!

2019年度内に全線開通予定の深川・留萌自動車道。その開通に向けたカウントダウンキャンペーンの目玉企画「デジタルスタンプラリー」は、留萌管内の道の駅や飲食店などが会場となり、そこにあるQRコードをスマホなどで読み取るだけで参加できます。さらに会場では「ご当地キャラカード」も配布中。このほか、みんなで歩く開通直前お披露目イベントも開催予定です。ぜひご参加ください。

詳しくはホームページ! [よくばりスタンプラリー](#) [検索](#) ▶地域政策課 ☎(0164) 42-8421

お知らせ 道議会

定例会の概要などをお伝えします。

令和元年第1回臨時会(5/16~22)

■臨時会の概要
議長と副議長の選挙、特別委員会の設置、議会運営委員会・常任委員会・特別委員会の委員選任が行われました。

議長 村田 憲俊 副議長 高橋 亨

☆議長に後志地域選出の村田憲俊議員(自民党・道民会議)、副議長に函館市選出の高橋亨議員(民主・道民連合)が選ばれました。
☆委員会名簿は議会ホームページにて公開しております。

■主な議決の状況
◎知事提出案件 106件
●予算案34件/条例案58件/その他14件
◎議員提出案件 4件
●条例案1件/規則案1件/意見案2件

「精神障がい者も含めた医療制度の創設を求めた意見書」など

道議会図書室&道立図書館連携展示
年表でふりかえる 道議会の歩み
「道みんなの日」にちなみ、道議会の歴史を年表や写真で紹介!北海道に関連する書籍も展示しています。
●展示期間 7月31日まで(平日のみ)
●展示時間 8:45~17:30

■主な議決の状況
◎知事提出案件 4件
●条例案1件 北海道税条例の一部を改正する条例案
●その他3件 北海道副知事の選任につき同意を求める件 など

◎議員提出案件 8件
●決議案8件 「日露両国における友好交流の一層の推進と相互の信頼関係に基づく外交交渉の推進に関する決議」 など

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691